

肩

の上

の  
龍  
驤

成人  
向



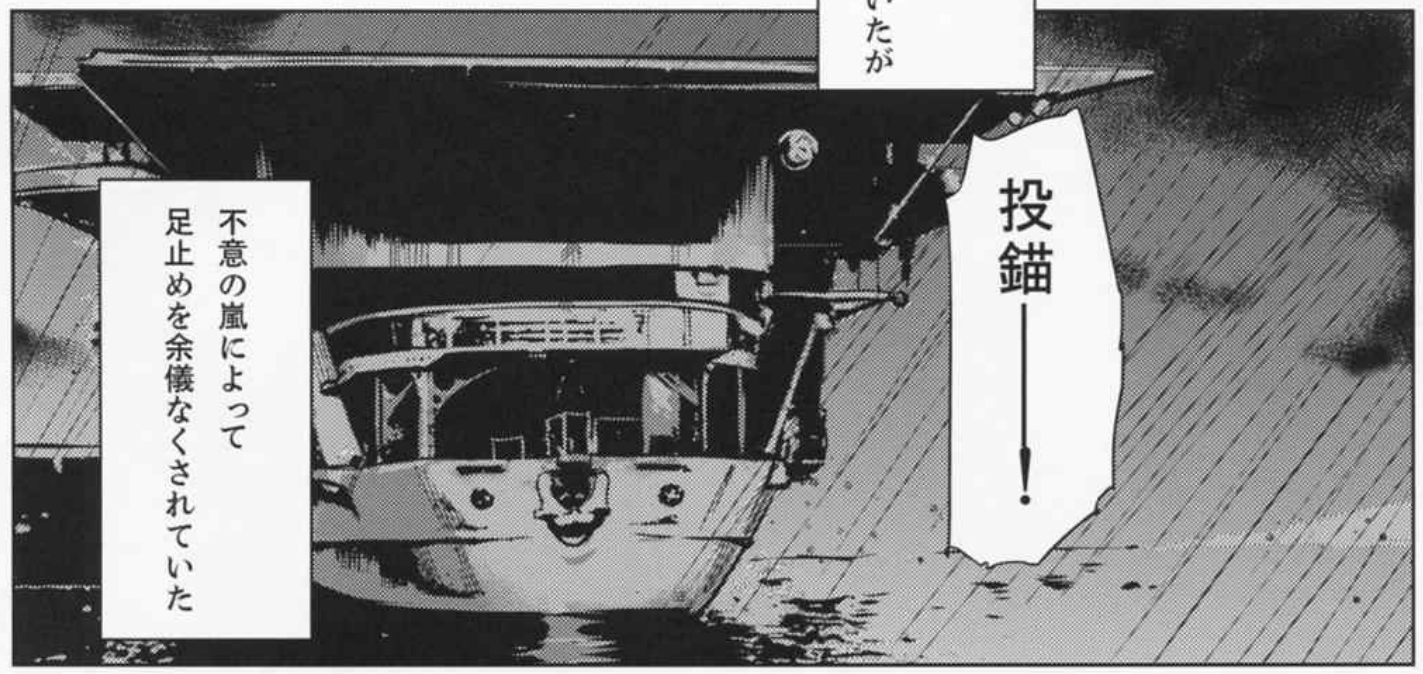
肩の上の龍嬢



昭和12年8月15日

上海近海

とある任務の遂行のため  
一航戦(龍驤、鳳翔)は  
馬鞍群島方面を目指していたが



投錨

不意の嵐によって  
足止めを余儀なくされていた

航空母艦・龍驤

暴支膺懲!

暴支膺懲!

これ以上の  
航行は無理か...

海上に浮かんでるのが  
奇跡みたいな軍艦だから...

全くこの  
ポンコツは...

しっ!

中佐殿に聞こえるぞ!





上海租界は依然  
国民党軍に包囲されている模様

その数、2万とも  
3万とも…

ええいっ！  
忌々しい台風だ

ホンマやで！  
まったく

はい  
はい



内地の状況はどうか？

ハッ



同胞のことを思えば  
何ということはない

誰のせいやねん！  
誰の！



中佐殿  
少しお休みに  
なられては…？

顔色が優れませんし  
こう揺れますとね…



な？  
不安定やろ……？

私は座敷童に  
憑かれていた

いや…軍艦重か…？



すまん…  
やはり疲れてるんだ

出港以来…



人間で言うと  
こういうバランスや  
危なっかしくて  
かなわん…

思い知ったやろお？

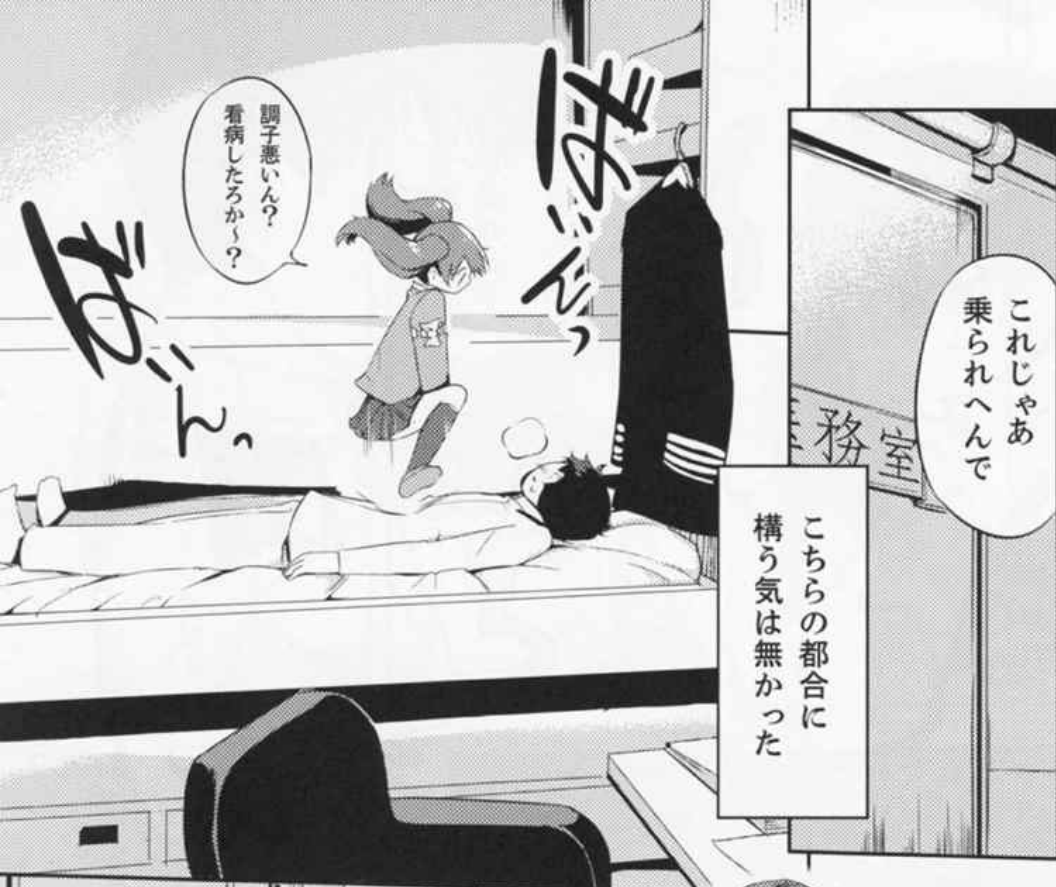


人の話を  
聞けーっ！



ねえ君たち…  
本当にこれが  
見えないの？

は？



調子悪いん？  
看病したろか？

ぼん

これじゃあ  
乗られへんで

こちらの都合に  
構う気は無かった



あんちゃんが  
新しい艦長？

この迷惑な幽霊は

昼に無く  
夜に無く



よほど私<sup>わ</sup>の肩の上  
気に入ったのか

すー



…  
童<sup>わ</sup>ち<sup>ぢ</sup>やう<sup>わ</sup>



化けて出る程だ

何か訴えたいことが  
あるのだろう…

のう童<sup>わ</sup>



やっぱり童じやねえか

ひどいわ!

何が恨めしいかは  
知らんが…

わしはこの艦隊の  
参謀じゃ

恨めしい  
言うたら

大事な作戦中じゃ  
ちよつかいは  
わしだけにしとけよ

こんな私に  
産んだあんたらとか…

すっ

搭載機増やすためやからって…  
格納庫を2段にするなんて  
無茶苦茶やで！

幽霊のくせに  
詳しいのう…

第四艦隊事件いうてな  
こんな台風の日  
だったそうじゃ…

転覆は免れたが  
高波に弱うてのう

ただでさえ曰く付きじゃ  
この軍艦は

艦橋まで潰してしもて

ほんと  
有り得へんかったわ…

お前…

龍驤か…？





神仏の類じゃったか

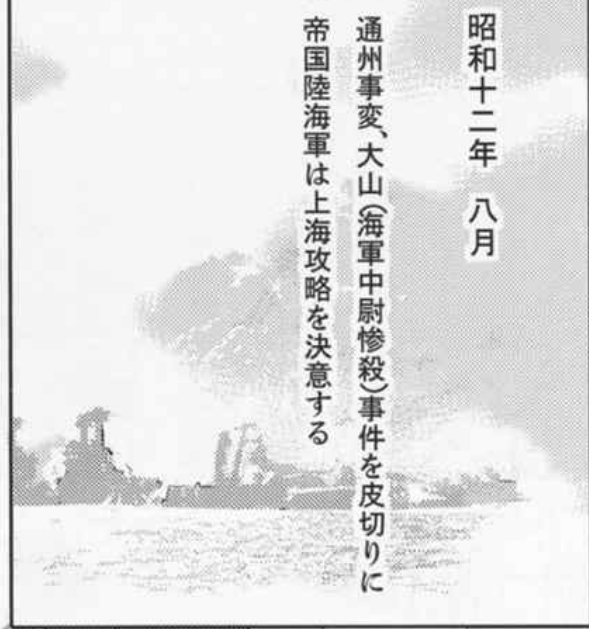
そんな名前やった  
気がする

私うち



昭和十二年 八月

通州事変、大山(海軍中尉惨殺)事件を皮切りに  
帝国陸海軍は上海攻略を決意する



特に、大山事件は単なる暗殺事件ではなく  
肉体破壊の限りを尽くした猟奇趣味的な  
殺人事件であり



国内世論は激昂

それまで日を見を決め込んでいた  
帝国海軍も三撃講和策を享受

事変の早期解決を  
目指したが



初陣で…  
鳳翔も加賀も  
経験してんねんな…

うち何したら  
ええんやろ…

上海の首尾は  
相当に悪いと聞いておる



敵の航空兵力  
侮り難し…

ええい!  
暴支膺懲!

この荒天  
なんぞのものよ

それ以上に  
弔い合戦の  
色合いが強かった



加賀の被害が  
甚大とな



まさか  
沈められたのでは…

うちの中で  
暴れんといて  
ほしいなあ

ホンマに…

おい、聞いたか?





米軍製の哨戒機が  
確認されたとの  
話もあります

そいつが上海を襲ったのは  
間違いないのか？



ソ連製の爆撃機？



いよいよですね

作戦変更はない  
明朝マルロクマルマル  
四機編隊を率い

宝山上空を哨戒

はっ

これでは…



国民党軍が  
何故そのような物を…



暴支膺懲！

関係あるかい  
そんなもん！





もす  
百舌鳥の  
早贄ではないか



聞いた聞いた？

うち、鳳翔と組んで  
一航戦なんやて！

そう…

やあーっと竣工したんや

うちも加賀や赤城みたいに  
敵をバツバツ落としたるでえ

なんつって

もう…  
龍驤さんたら…



お互い  
武運長久を…



英米、ソ連の  
参戦の口実使われよう

これは…

取り返しのつかん  
ことになる気がする

なっ

なんやねんなそれっ

無茶な設計の上に  
艦上機詰め込んで

やっと初陣やと思ったら  
取り返しがつかん？

どうせいつて  
言うんやっ



しかしのう



血を流すのは  
わしらじゃ



勇ましいのう

艦の如きが

意見具申するために  
その姿に窺したのか？



うち元々物言わん  
ただの空母やし…

いつ沈むかも  
しれへんポンコツ…  
どうかしてたわ…

加賀も…  
きつと悔しいやろな



せ、せやな…



それでも…キミの  
キミらのために…

生まれたんやから…



後の世の  
誹り<sup>せいり</sup>を免れん  
のだ

龍驤<sup>りゅうせい</sup>という  
名を…

わしはそれが…  
たまらなく辛い…

人の形<sup>なり</sup>で無ければ  
苦しまずに  
済んだものを…





童<sup>わらわ</sup>ちやう  
ゆうてるやろ…

へ、平気やで…っ

おはは

軍人やのに  
軍艦なんか<sup>ふね</sup>に氣イ使<sup>つか</sup>って  
どないすんねん

そうか…  
そうじゃったな



ムズムズ

い、一応お前も  
お、女子<sup>おなご</sup>の形<sup>なり</sup>してるからな…



?  
何か当たってるで…

イヤ!  
こ、これは…

陸<sup>おか</sup>を出てもう何ヶ月  
経<sup>か</sup>つし…

私が現れた意味って  
そういう事……？

ち、違……っ

すごい……

言ってる……

何か飼ってる  
の……？

その……  
なんじゃ……

ええよ……

かかし……

ぽろん

早い話が  
うちにぶちまけたくて  
仕方ないんやろ……？

あ……  
ハイ……

どんだけ  
貯めこんだら  
こんな…

ん…

汗臭くて…

太くて  
熱くて…

すごい中で…  
暴れて…







す、吸い付く...

すごい締めまり具合じゃ

深くするぞ...

あ

あ



ハハ...

自分で腰を振って  
スキモノじゃのら

だってえ...

あ

あ



フウーンッ

ズッ

ズッ

ズッ

フン…クウッ

おほろ  
おおおおお

射精すぞっ!

クウ…ッ  
もう果てそうじゃ…っ

ええ塩梅じゃ

あは…っ

もう5,6発は  
イけるじゃろ

ズッ

ズッ

もう……  
加減ってモン  
知らんのやから……

その割には  
まんざらでも無かったのう

押しに弱いのか？

そんなこと……  
ないわっ

ほれほれ

チンポの味  
よく馴染ませるんじゃ

格納庫と違って  
こっちは肉の壺じゃからの

とく……う

きみの形に  
なっちゃってるよおっ







はー  
はー  
しゅぎ…  
そうか…  
わしもお前が  
可愛くて仕方なくて  
のう…



ううん…  
ずっと  
見てたんよ…  
キミがうちに  
着任する前からずっと…



ちよっかい  
出したんも…  
ずうーと  
キミにこうして  
欲しかったからかも…  
龍驥……



そんなにしたら  
壊れちゃう…っ

私…

孕ませたいんじや  
ええじやろ

子宮ももろ  
精液でパンパンじや  
もう少し挿げんか…  
の？

ハアッ

ハアッ

そこ格納庫  
ちゃうのに…っ



なんじゃ…？  
そっちにも  
欲しいのか…？

なんちゆう  
好き者じゃろ…

尻穴もなかなか  
ええ締め具合じゃ…

ズボ  
ズボ

誘惑してる  
つもりか？

そ、そんな  
ちやうわ…！

でも…

将校さんって  
色んな軍艦  
乗るんやろ…？

いつ私が沈んで  
生き別れるかも  
わからんし…

尻穴ほじられて  
感傷か…？

それとも…

妬げるか…  
他の艦に…

ズボ

ズボ



答えたらへん!

75

あ



なんつうか...  
おんなに気持ち打ち明けるのは  
苦手での...

龍驤...

75

あ

お前の形が  
女子であろうと  
なかるうと…

お前  
艦とは最初から…  
添い遂げる覚悟じゃ

それが帝国軍人と  
いうもの…

ぷっ

いつからキミ  
うちのお嫁さん  
になったん…？

ちや、茶化すなっ

心細いか…？

平気…

きみとなら  
大丈夫…

明日…

無事に還ってきたら  
またこうやって  
してくれる？

私…本当は  
それだけでええんやから…

8月16日午前6時



へへ…  
一張羅やでっ

随分かさ上げ  
しどるのう…

なんやてー！  
！？

ぶっ  
ぶっ

ちゅ、中佐殿…？

ちよつくら  
甲板に出てくる

ええっ？  
！？

一体、自分が何者で

どこから来たの

ほらっ  
風翔が  
手え振ってるで！



ああっ  
加賀も！  
無事やったんや！



本当は何も理解は  
しとらん  
のじゃろなあ…



どこへ行くのか



果ては地獄か

これは避けられぬ運命  
なのじゃろう

龍驤らの存在が  
この戦の先行きを  
暗示しているのなら



人間も同じか…



それでも

ああ…



肩！

てっ



還ってきたら  
いつでも

特等席は  
空けといてや

特等席？





お前となら  
逝ける気がする

ほな…  
行ってくるで…



なんか言うた？

なんでもないわい



龍驤さん  
仕切らないで…

ま、ええか

はて…提督？

よし  
空母機動艦隊出撃するで！



提督  
その…違ったら…



うむ  
頼ずりして  
ベロチューだっけ？

そ、そこまで  
せんでええわ

全機発進！！

昭和十二年八月二十二日、兼子正中尉の指揮する九五戦四機は、宝山上空を哨戒中のカーチスホーク一八機を発見、六機を撃墜。翌二十三日には鈴木實中尉が九五戦四機を率いて宝山上空を哨戒中、カーチスホークとP26戦闘機混成の二七機編隊を発見、激しい空中戦を展開し、九機撃墜。

AP通信は空母「加賀」、「鳳翔」と共に「龍驤」の活動を世界に報じた

●あとかき●

どうも、みさぎ和です！

初の艦これ本ですよ！艦これ！

相変わらず乳の無い(褒め言葉)娘ばかりを描いてる気がしますが、

初めてお迎えした空母が龍驤ちゃんだったのだからしょうがない。

ツンツンしてるのに構ってちゃんなのがとてもツボなんですよね。

普通の艦これ本と違って、ちょっとおかたい内容になってしまいましたがいかがだったでしょうか？

今回の作品の時代背景は、後に支那事変と呼ばれる、その幕開けの第二次上海事変の頃です。この後、上海～南京と何故か内地へ誘い込まれ国際プロパガンダによって日本軍が悪者にされたってのが、近年の定説だそうです。(ようするに南京大虐殺とかいう架空のアレ)

作品中でも出てますが、元々は邦人救出の作戦だったんですよね。

これを口実に石油が止められたり、ABCD包囲網をされたり教科書に出てくる史実に結びついたというお話です。

そんな時代の中、艦娘たちが存在したら…と考えだすと妄想が止まらなくなりまして(苦笑)

2013年冬コミで頒布する予定だったものが、随分遅れてしまいました(反省)

異次元大戦も良いのですが、史実に沿ったお話を考えた時、艦娘達の人間(?)関係もまた面白い描き方が出来るんじゃないかなあ…と

龍驤ちゃんはこのお話の後も、とても数奇な運命を辿ります。

ミッドウェーからソロモンまで。

機会がありましたらどこかで描いてみたいと思います。

## 肩の上の龍驤

### 奥付

発行日 2014年8月17日発行  
発行者 みさぎ和  
発行 EAR-POP  
URL <http://www.nagnagnag.hello-net.info/default.htm>  
mail [earpop@nagnagnag.hello-net.info](mailto:earpop@nagnagnag.hello-net.info)  
印刷 サンライズパブリケーション様

肩の上の龍驤

FOR ADULT ONLY

by EARIPPOP